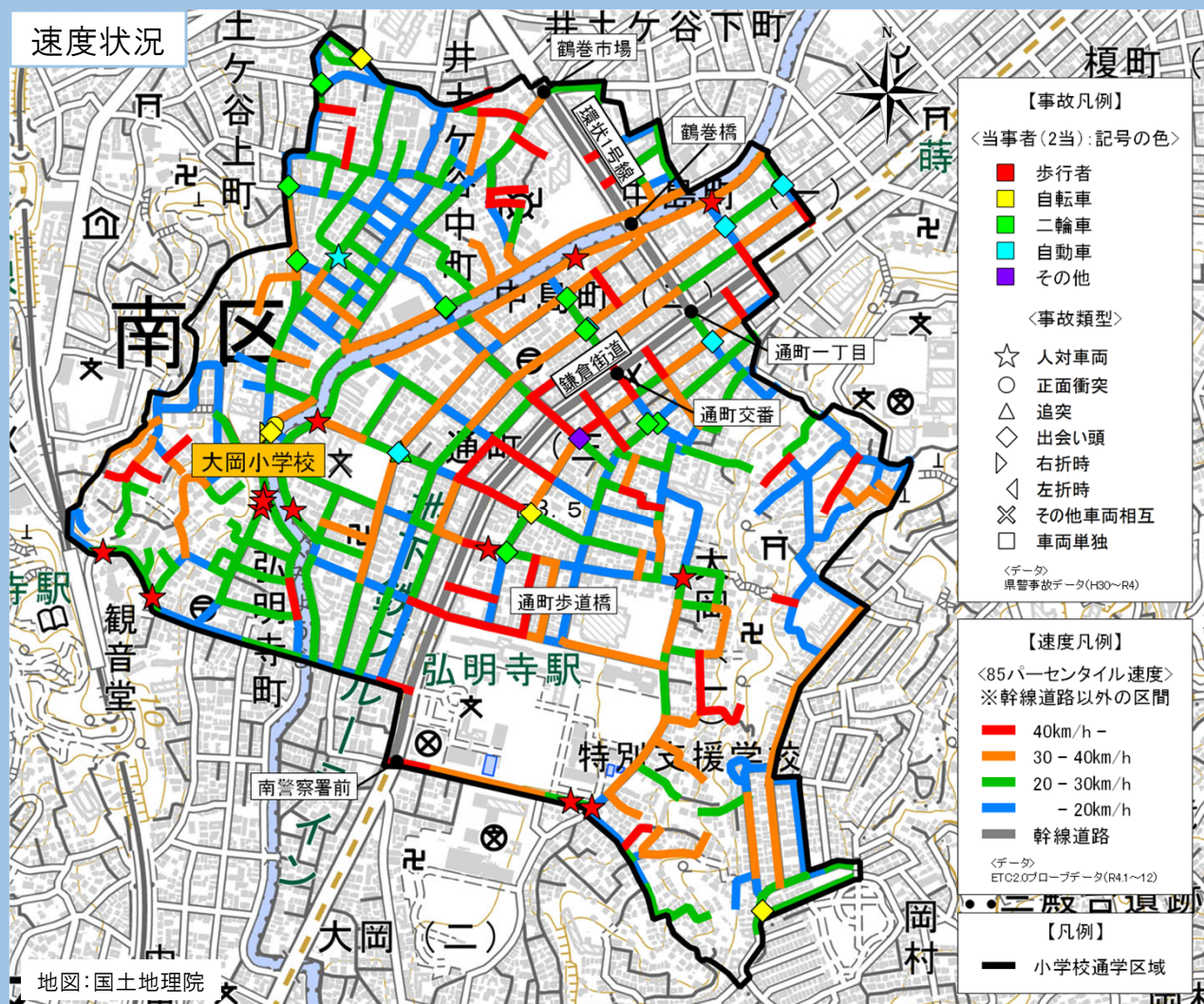
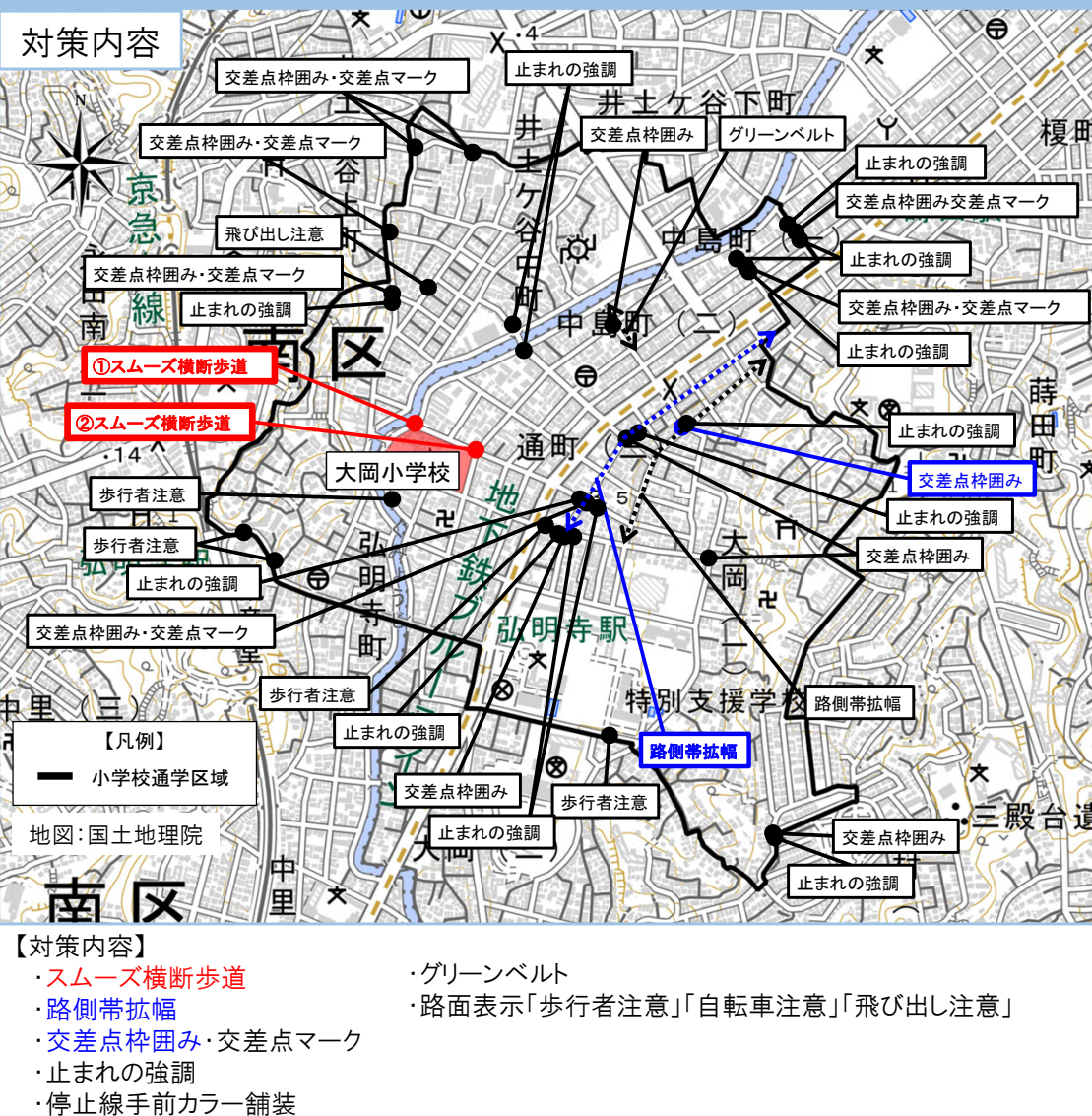


速度状況と対策内容

ETC2.0 から得られた車両速度データや交通事故データなどをもとに対策を立案し、学校や地域との協議を経て対策を実施した。スクールゾーン協議会の要望を受け、小学校周辺の児童が多く通る場所にスムーズ横断歩道を設置した。校区全体でも路面表示などによる注意喚起を行い、児童の登下校時の安全性向上を図った。



※ETC2.0分析結果（国土交通省提供）を加工し、横浜市が作成
 ※交通事故データ（神奈川県警）より抽出



①スムーズ横断歩道

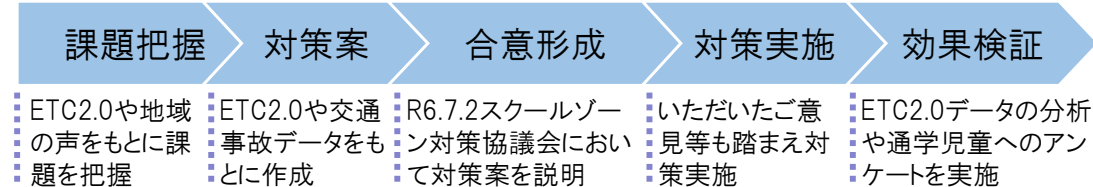
※横断歩道縮小・位置変更



②スムーズ横断歩道



交通安全対策取組フロー



スクールゾーン対策協議会からの主な要望

川沿いの道路は、一方通行で車両の速度が高い路線のため、運転者へ注意喚起等を促したい。

交通量の多い道路を中心にグリーンベルトの整備や補修をお願いしたい。

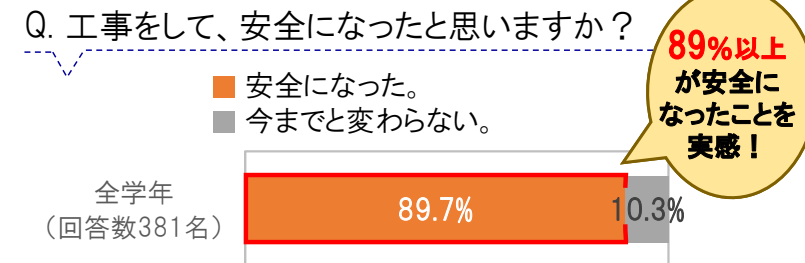
路側帯の拡幅



交差点枠囲み



児童向けアンケート



グリーンベルト・路側帯拡幅の対策は、歩くところが広がって嬉しいです。
 大岡小学校児童（4年生）

段差をつけたことで前よりも速度を落とす車が多くなったんじゃないかと思いました。
 大岡小学校児童（5年生）

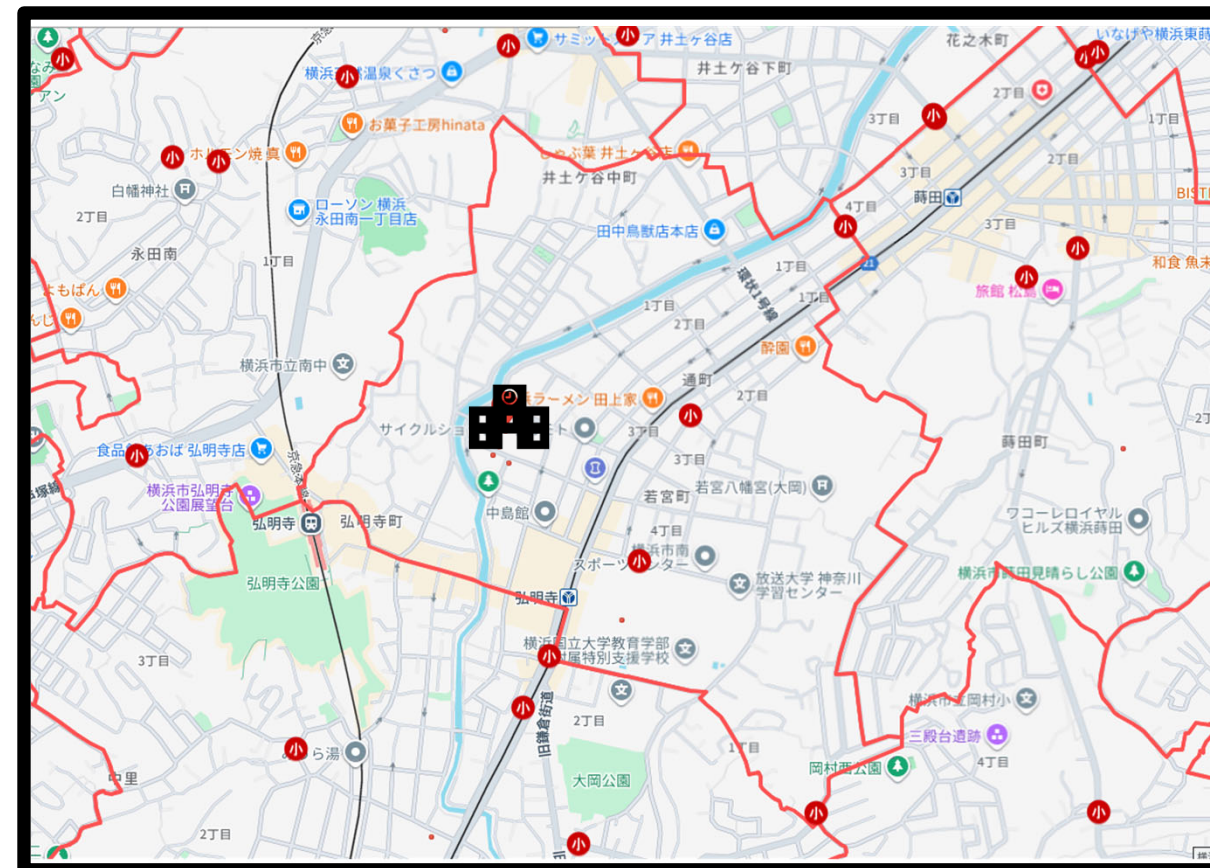
南区 大岡小学校

【対策方針】

- 登下校時や放課後に学区を移動するときに、気を付けていることを挙げる。
- 交通事故を防ぐための工夫を見つける。
- 防ぐための工夫がなぜそこにあるのかを考える。

【こども・安全安心マップ】

引用:Googleマップ



■ 対策事例

社会科授業 事故や事件からまちを守る ～学校のまわりを調べよう～



新設のハンプなどを見学し、設置の経緯や工夫について話し合い、交通安全への理解を深める授業を実施

【学校からのコメント】
児童たちが地域に安全への取組がなされていることに気付く姿が見られた

放課後キッズクラブ交通安全教室

(実施日:(1回目)令和6年8月24日(2回目)令和7年3月27日 参加人数:62名)



下校時間の遅く1人で帰ることが多い放課後キッズクラブの児童に向けて、委託事業者による交通安全教室を実施

【交通安全教室の主な内容】
こども・安全安心マップを基に、交通安全マップを作成するグループワーク

はまっこ交通安全教室

(実施日:令和6年5月17日 参加人数:210名)



※写真は対象校とは異なります

道路を1人で歩くことが多くなる1年生と自転車を使い始める4年生を対象に、交通安全協会が交通安全教室を実施

【交通安全教室の主な内容】
1年生:道路の正しい歩き方
4年生:自転車の乗り方 ほか

幼児交通安全訪問指導

(実施日:令和6年11月12日ほか1回実施 参加人数:計98名)



※写真は対象園とは異なります

未就学児を対象に道路の歩き方などをパネルシアター等を用いて道路局の幼児交通安全教育指導員が実施

【訪問した園】
アイン弘明寺保育園
南若宮幼稚園